

# 令和7年度 第3回 長崎県公共事業評価監視委員会

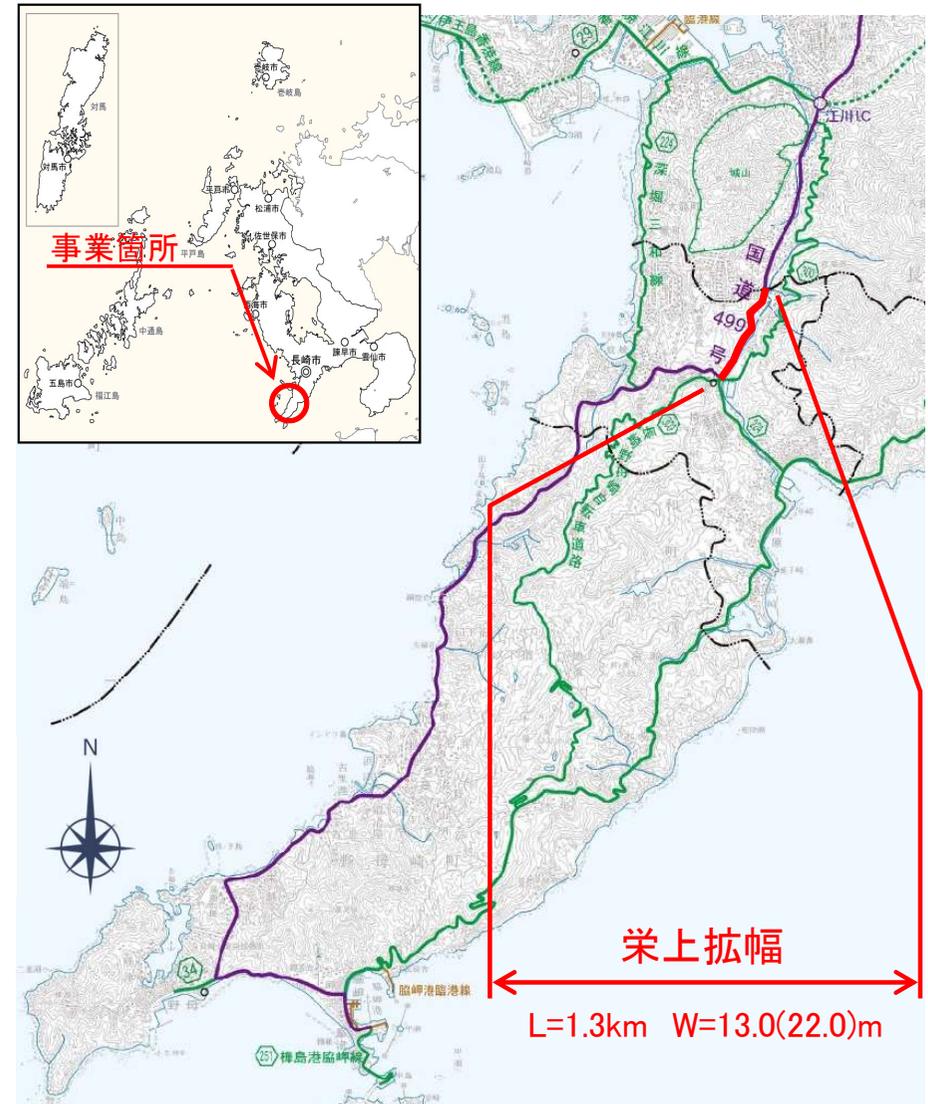
## 再評価対象事業

道建-14

道路改築事業  
一般国道499号  
えいがみ  
(栄上拡幅)

事業主体 長崎県

再評価  
の理由 再評価後変更(事業費・工期)



# 1. 審議経過

審議経過	再評価の理由	工期		事業費 (億円)	B / C	備考
		着工	完了			
当初 (H19新規評価)	—	H20	H27	35.0	2.20	【工事概要】 延長1.3km 幅員13.0(22.0)m
第1回審議 (H29年度)	事業採択後 10年経過	H20	H32	39.0	1.26	【当初評価からの変更概要】 用地取得の手続きによる工期延長 軟弱地盤対策による事業費増額
第2回審議 (R1年度)	再評価後変更 (事業費・工期)	H20	R5	44.0	1.10	【前回評価からの変更概要】 用地取得の手続きによる工期延長 掘削部の岩質見直しによる事業費増額
第3回審議 (R4年度)	再評価後変更 (事業費・工期)	H20	R7	53.0	1.05	【前回評価からの変更概要】 用地取得の手続きによる工期延長 物件調査、残土処分場の変更による 事業費増額
第4回審議 (R6年度)	再評価後変更 (事業費・工期)	H20	R8	56.0	1.03	【前回評価からの変更概要】 用地取得の手続きによる工期延長 既設橋梁等の撤去工法の変更による 事業費増額 支障埋設物撤去による事業費増額
第5回審議 (R7年度)	再評価後変更 (事業費・工期)	H20	R10	57.3	1.01	【前回評価からの変更概要】 用地取得の手続きによる工期延長 切取防護柵の高さの変更による増額 電柱移設計画の変更による補償費の増額

# 2. 目的・事業概要・これまでの経緯

## ◆目的

栄上拡幅は、一般国道499号における延長約1.3kmの2車線区間であり、渋滞解消および歩行者等の安全確保を目的としている。

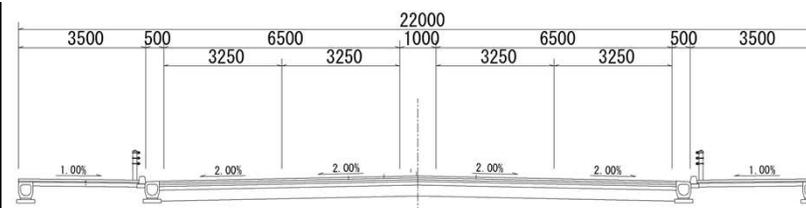
## ◆事業概要

計画延長等	L=1.30km
幅員	W=13.0(22.0)m
計画交通量 (R22)	12,574台/日

## ◆事業経過

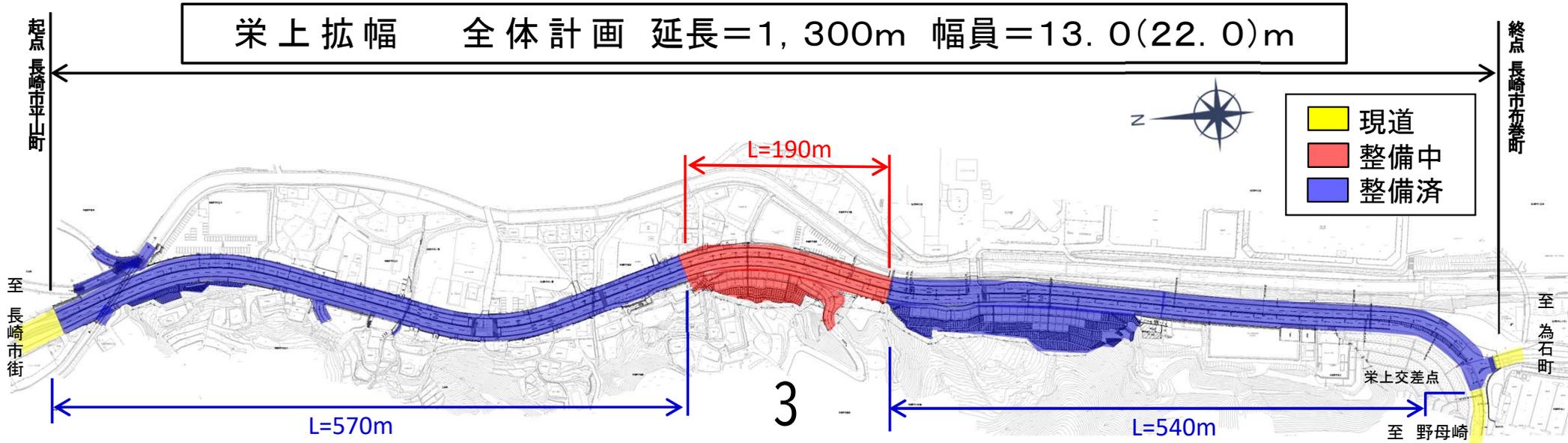
平成20年度	事業化
平成21年度 平成22年度	用地買収着手 工事着手
令和6年度 末現在	約570m4車線供用 約540m暫定供用

## ◆標準断面



事業進捗率 88% (事業費ベース)  
 用地進捗率 100% (面積ベース)  
 【R7.11月末現在】

栄上拡幅 全体計画 延長=1,300m 幅員=13.0(22.0)m



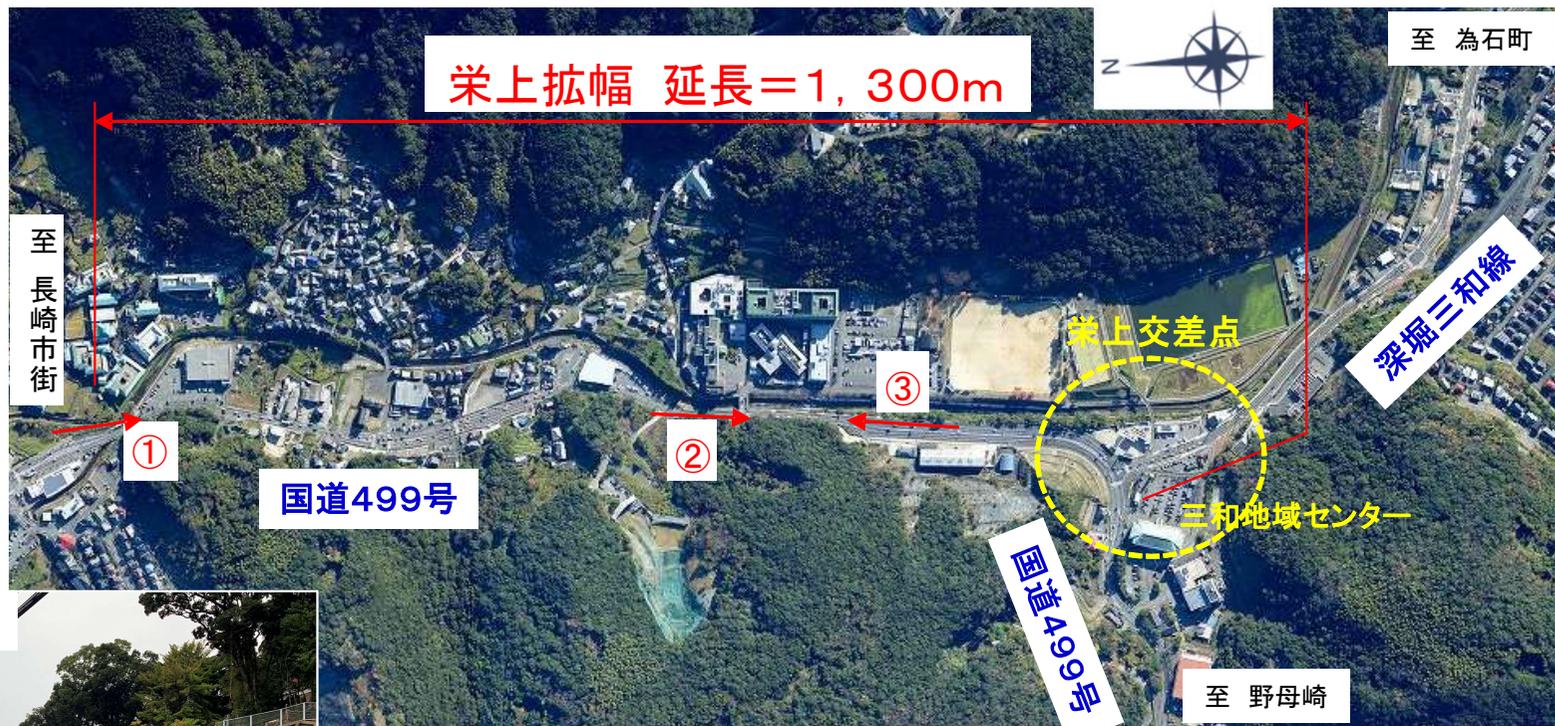
# 3. 事業の効果・必要性

## <渋滞の解消>

交通容量の不足から渋滞が発生しており、円滑な車両通行が確保されていない。本工区の整備により国道499号の更なる渋滞解消が図られる。

## <歩行者の安全確保>

現道は、歩道が狭小かつ一部未整備であり、歩行者の安全が確保されていない。本工区の整備により安全な歩道空間の確保が図られる。



①4車線供用済み箇所



②通学状況【整備前】



③渋滞状況【整備前】



# 4. 事業の進捗状況(事業費の見直し)

## 【事業費増】

56.0億円(前回)  
⇒57.3億円(今回)

事業費増の内容	増額	主な内容
①切取防護柵の変更	約0.5億円	NTT光ケーブル埋設管の埋設位置のずれに伴う切取防護柵の高さの変更
②電柱移設計画の変更	約0.5億円	電柱移設計画の変更による補償費の増
③資材単価等の上昇	約0.3億円	労務・資材単価等の上昇
計	約1.3億円	

栄上拡幅 全体計画 延長=1,300m 幅員=13.0(22.0)m

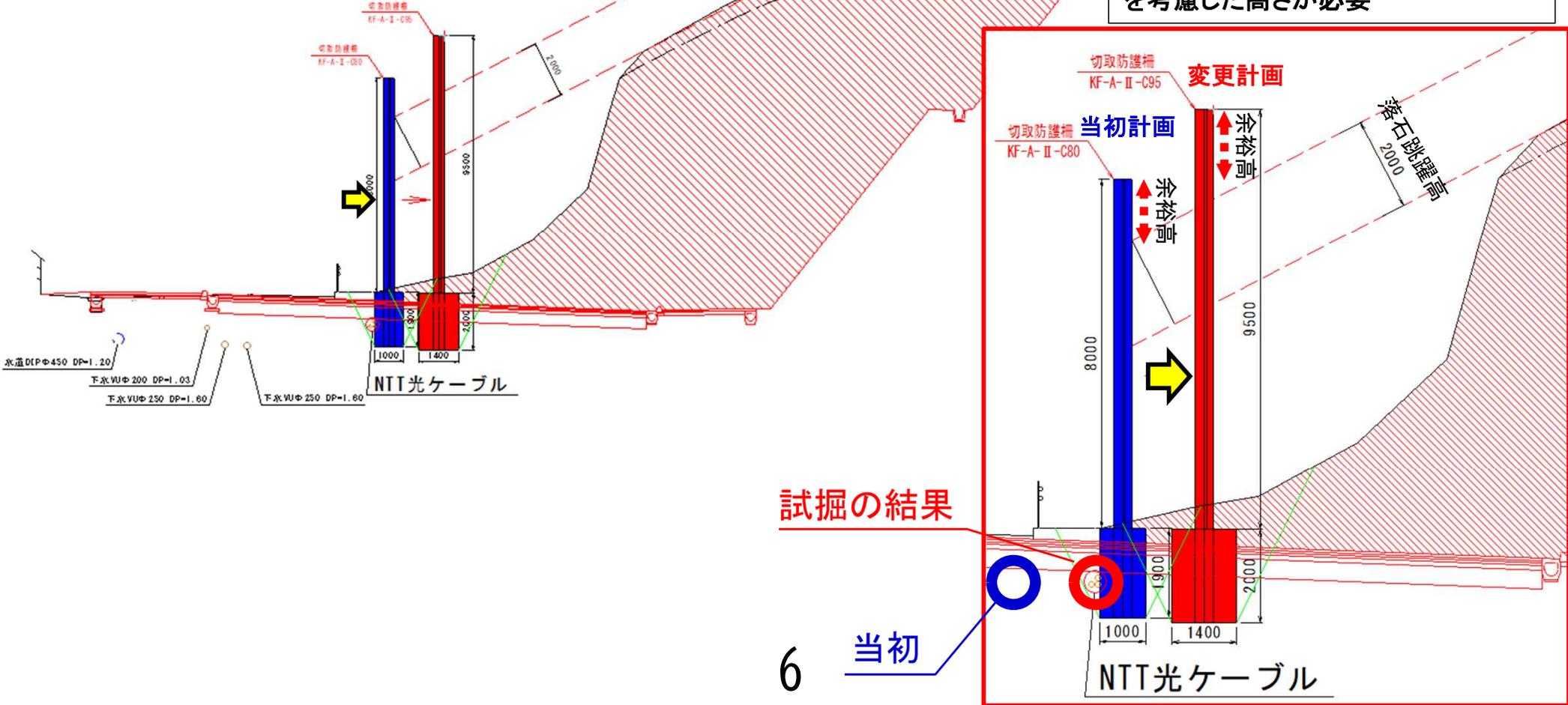


# 4. 事業の進捗状況(事業費の見直し)

## ①切取防護柵の変更【0.5億円の増額】

- ・NTT光ケーブル埋設管の埋設位置のずれに伴う切取防護柵の高さの変更。

切取防護柵は、  
落石の跳躍高(2m)+余裕高(1m)  
を考慮した高さが必要



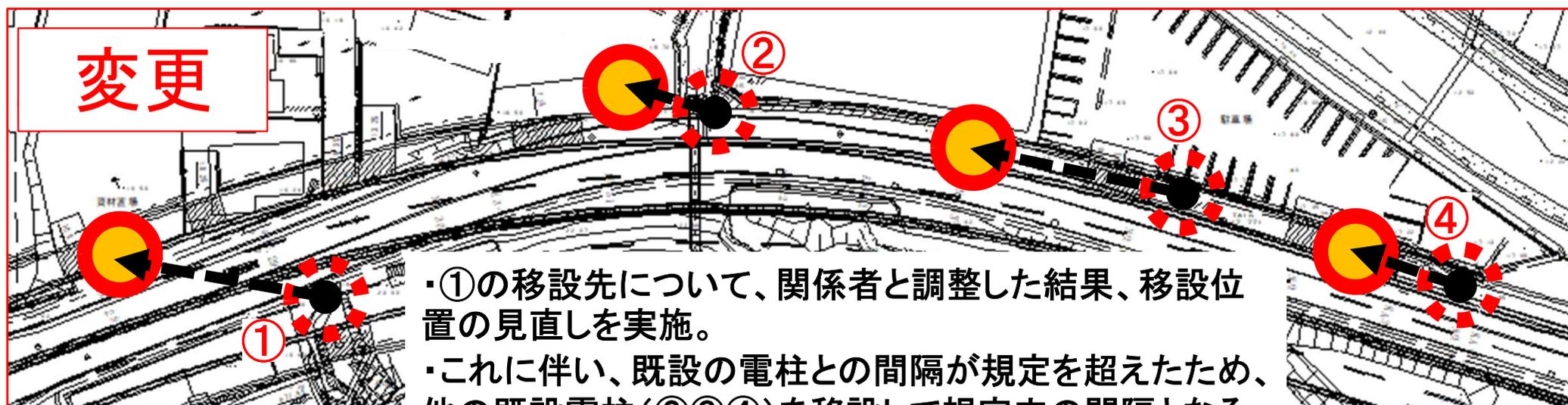
試掘の結果

6 当初

## 4. 事業の進捗状況(事業費の見直し)

### ②電柱移設計画の変更【0.5億円の増額】

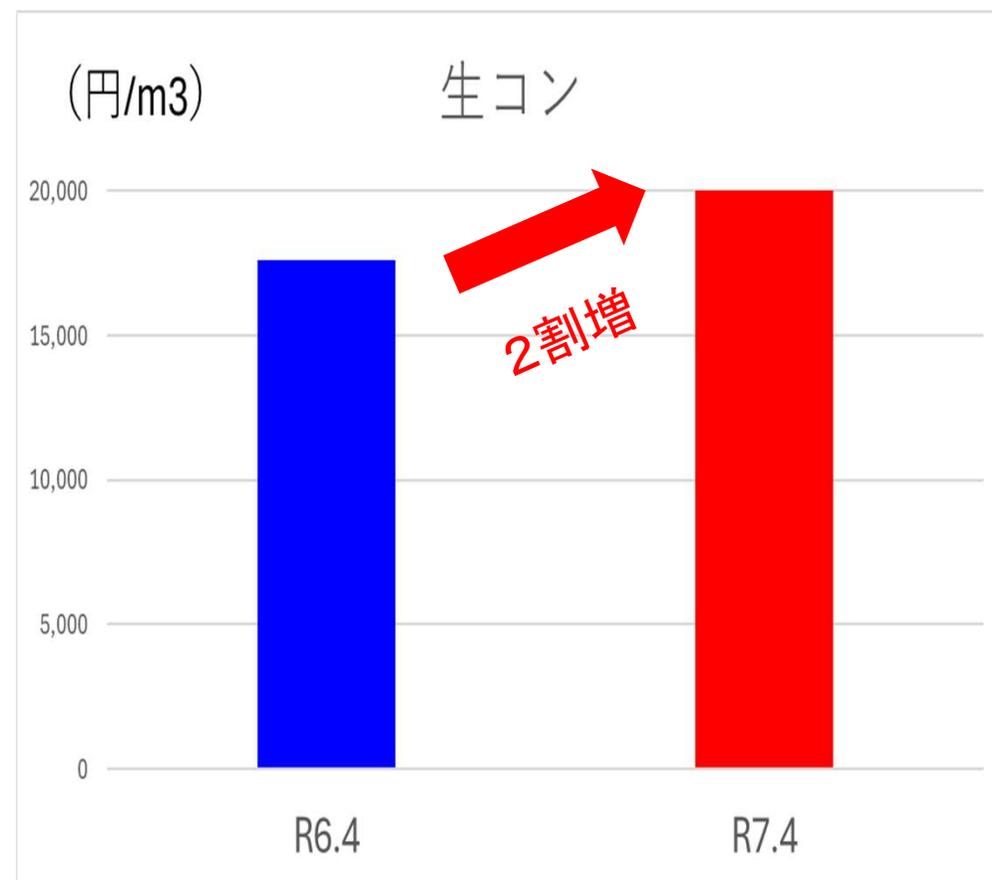
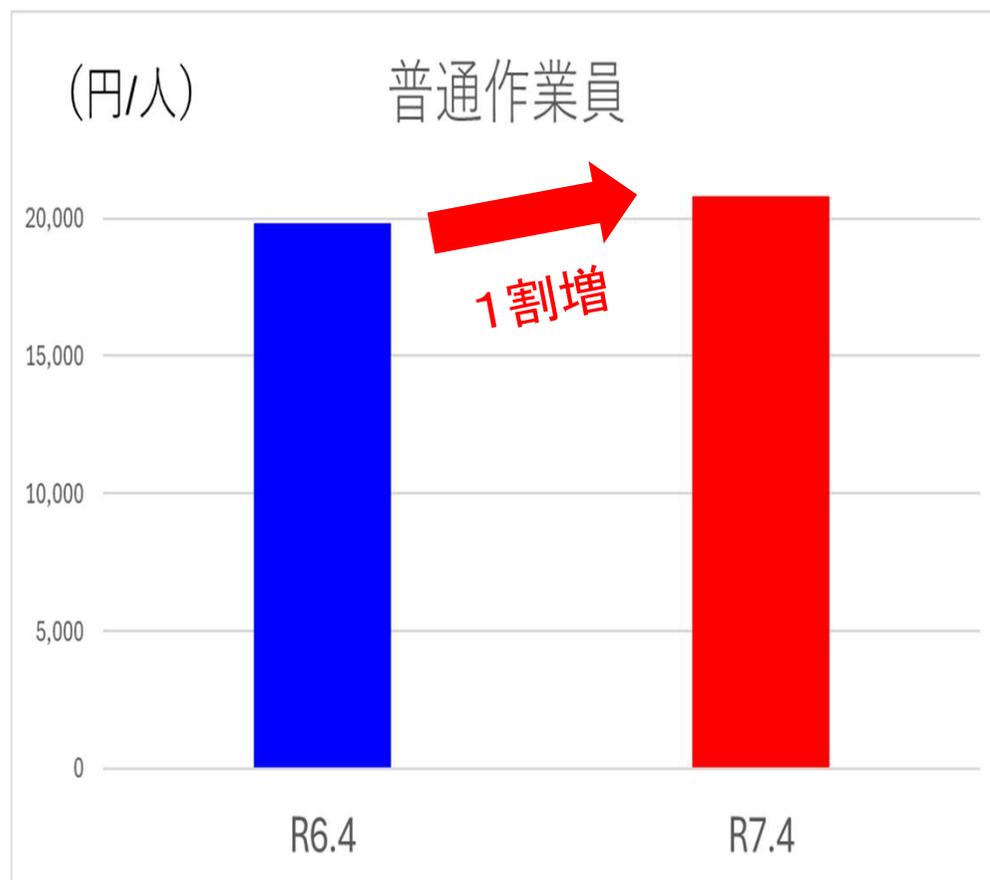
- ・隣接者との調整により電柱移設計画を変更することに伴う補償費の増



## 4. 事業の進捗状況(事業費の増加)

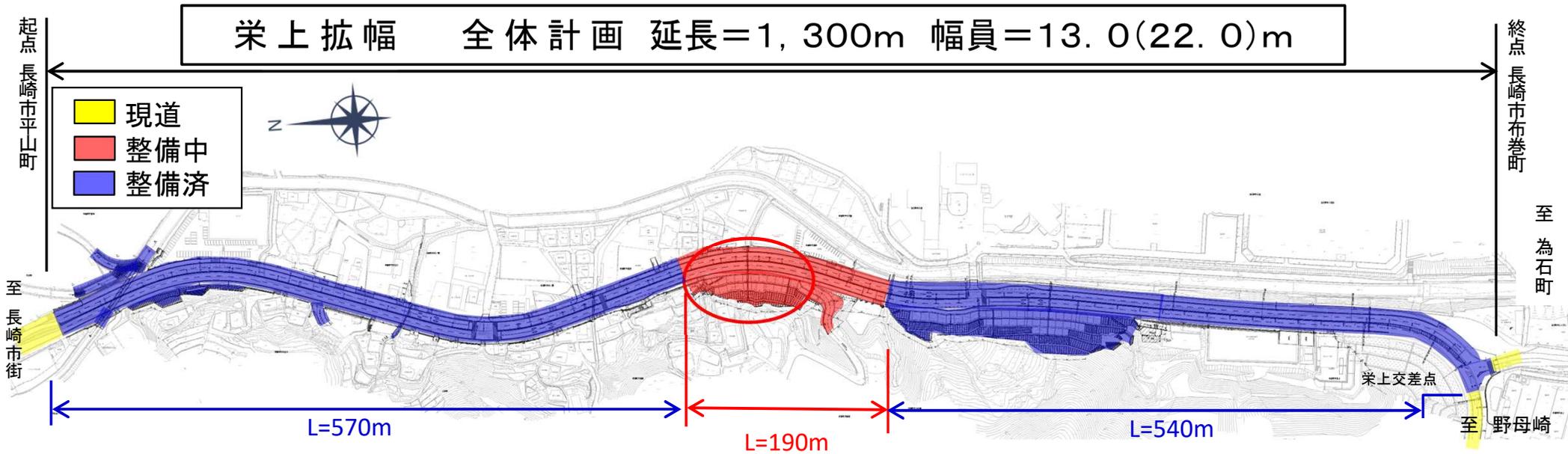
### ③資材単価等の上昇【0.3億円の増額】

- ・残事業費に対する価格上昇による事業費の増



# 4. 事業の進捗状況(事業期間の見直し)

【完了工期】R8(前回) → R10(今回)  
 □ 用地取得において、日数を要した。



前回

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
測量・地質調査	■																		
道路設計	■																		
用地補償交渉		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
工事			■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■

今回

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
測量・地質調査	■																				
道路設計	■																				
用地補償交渉		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
工事			■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■

## 5. 社会経済情勢等の変化

- ・長崎市恐竜博物館において、貴重な化石が発見・公開されており、利用者数が増加。  
令和6年度(平均): 11,280人/月 ⇒ 令和7年度(8月までの平均): 21,266人/月 <約2倍>



## 6. 事業の投資効果

### ◆ 費用対効果(B/C)

項目	前回評価 (令和6年度)	今回評価 (令和7年度)
残事業	2.50 = 12.14億円 / 4.86億円	2.04 = 13.04億円 / 6.40億円
全事業	1.03 = 79.65億円 / 77.58億円	1.01 = 85.71億円 / 84.56億円

#### [費用]

- ・道路整備に要する事業費、道路維持管理に要する費用

#### [便益]

- ・走行時間短縮、走行経費減少、交通事故減少便益

#### [プラス要因]

- ・費用便益分析マニュアルの改定  
→原単位(価格)の増加

#### [マイナス要因]

- ・事業費の増
- ・工期の延長

### ◆ B/Cでは計測できない効果

- ・緊急輸送道路の防災機能強化

## 7. 対応方針(原案)

- ◆ 国道499号における延長約1.3kmの2車線区間であり、渋滞解消および歩行者等の安全確保に寄与する事業である。
- ◆ 事業進捗率は事業費ベースで約88%[50.6億円/57.3億円]であり、用地進捗率は面積ベースで100%となっている。(令和7年11月末現在)
- ◆ 「長崎市」および「一般国道499号道路整備促進協議会」から整備促進の要望が行われている。
- ◆ 事業費の増額、期間の延長はあるものの、費用対効果が見込まれる。

